

## 令和7年度 教育事業（ボランティア養成研修）

- [ 主 催 ] 国立曽爾青少年自然の家  
[ 期 日 ] 令和7年5月10日（土）～11日（日）  
[ 対 象 者 ] 地域貢献を目的としたボランティア活動や青少年教育に興味がある者（高校生以上）  
[ 参加/募集 ] 12名／45名  
[ 講 師 ] 小西浩嗣 氏（関西大学 非常勤講師）  
吉田昌功 氏（五條市立五條小学校 講師）  
[ 担 当 ] 坂本純一（主任企画指導専門職）  
森岡亮平（企画指導専門職）  
菱川裕輝（企画指導専門職）  
福田卓（管理係主任）



### 1 趣 旨

青少年施設ボランティアに求められる知識・技能を習得し、教育事業や研修支援などを担う人材を育成するとともに、ボランティア活動の推進及び充実を図る。

### 2 ねらい

- ①豊かな自然の中で、活動する意義、ボランティア活動の内容や役割、対象者等について理解し、活動の楽しさを体験する。
- ②ボランティアとして必要となる知識・技能を習得する。
- ③青少年教育として行われる事業やその運営方法について理解する。

### 3 プログラム展開

| 5月10日（土）10:00～                                                                                                                                                                                                           | 5月11日（日）～14:20                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 開講式・オリエンテーション<br>講義 「青少年教育とは？」<br>昼食 持参した昼食@自然の家キャンプ場<br>実技 「森の遊びを体験しよう」<br>実技 「普通救命講習Ⅰ」<br>講義 「子どもたちの多様性に應えるために」<br>夕食 レストラン曽爾高原（食堂）<br>入浴 本館 大浴場<br>講義 「曽爾青少年自然の家を知ろう」<br>実技 「キャンドルファイヤーをしよう」<br>交流 「曽爾でのボランティア活動を知ろう」 | 朝食 レストラン曽爾高原（食堂）<br>実技 「アドベンチャーカウンセリング体験」<br>昼食 レストラン曽爾高原（食堂）<br>講義 「ボランティアについて」<br>閉講式 |

### 4 活動の様子



【普通救命講習のようす】



【講義のようす】



【アドベンチャーカウンセリング体験のようす】

### 5 まとめ（ねらいに対する参加者の感想、ねらいに対するアンケート結果）

- ・体験活動が減少しつつある今、子どもたちにそのような場を提供し、共に成長していけるようになりたいと思いました。
- ・子どもたち個人個人にそれぞれの個性や特徴があること、接し方の難しさ、固定概念にとらわれないなど、当たり前のことではあるが意識しても難しく、考えて行動しなければならないと思った。
- ・キャンドルファイヤーでの企画がとても楽しく、盛り上がり、みんなと仲が深まったので嬉しかったです。
- ・今度は先輩ボランティアに負けないぐらいのボランティアになっていくことを目指します。